

高松市生涯学習センター 生涯学習カレッジ（個人生活に役立つ講座）

「仏教を探る」を開催しました

平成26年5月21日から6月4日までの期間、3回にわたって元高校教諭の我部泰弘さんと四国学院大学非常勤講師の谷原博信さんの2名を講師にお迎えし、「仏教を探る」を開催しました。

第1回目は、我部泰弘さんに「歩き遍路を体験して（162ヶ寺 1200km）」というテーマでお話をいただきました。歩き遍路を体験したことによって、「正しい食生活・正しい呼吸・正しい血液の循環・心眼を開くこと」、これら全てが満たされたとおっしゃっていました。正しい食生活と正しい呼吸によって血液が浄化されます。また、最も自然かつ無理のない全身運動である歩行運動によって血液の循環が正しくなります。さらに、仏道を行くことで「第一の心」である「肉眼」が静まり、「第二の心」である「心眼」が開けます。生活の誤りを正し、自分に与えられている生命力を発揮することができたとおっしゃっていました。



第2回目は、谷原博信さんに「志度寺縁起と他界」というテーマでお話をいただきました。志度寺縁起絵図とは、志度寺の本尊十一面観音の由来と当寺建立・再興のいきさつなど縁起文を絵画化した縁起絵です。志度寺は、あの世とこの世の境界の場所で、海の彼方に極楽があると言われていたそうです。また、志度寺の写真データもたくさん見せていただきました。

第3回目は、我部泰弘さんに「ネパール・ヨーロッパ巡礼の旅をして」というテーマでお話をいただきました。仏教は、さかのぼるとヒンズー教に繋がっているとおっしゃっていました。また、実際にヨーロッパで見たことや体験談を聞かせていただきました。

どちらの講師も写真や遍路道具などたくさんの資料を準備してくださっていて、とても興味深い講座となりました。